

2025年度事業計画

(1) 全体の取り組み

米国を震源とする世界を揺るがす激震に世の中が揺れ動いています。そしてもうこれまでの延長線でモノゴトを考える、という姿勢は全く役に立たなくなっています。この様な中にあるからこそ、改めて目指す姿の明確化を図り、描いた新しい未来を実現してゆく取り組みが求められます。そこには“自ら考える力”を身に付けた仲間が必須だと考えます。そして成功に向けてはその数を増やし続けていくことが重要だと考えます。

アドバンスト・ビジネス創造協会はこれまでも Disruption への対応に取り組んできておりますが、その為に“自ら考える力”を身に付けた人材育成が重要であり、これに力を集中させていきたいと考えております。一人ひとりの技術を磨くだけでなく、広く考えることのできる力を備えた人材を蓄えていくことこそが、この混沌とした世界を乗り切っていく根本の力になることと考えております。

「混乱の時代で最も危険なものは、混乱そのものではなく、昨日の論理で行動することだ」

(ピーター・ドラッカー)

という言葉の実践には、正に“自ら考える力”を育てていくことが大切なのではないのでしょうか？

ABC協会メンバー一同、より一層努力して参りますので、皆様におかれましても活動に協会のサービスを積極的にご活用頂き、活発な議論をとおして私共も皆様と共に成長し、皆様のご発展を支えてゆきたいと祈念しております。

重点施策

- 1 組織開発・人材育成、方法論の研究
- 2 協会のビジネス活動
- 3 協会の基盤強化

以下、内容をご説明いたします。

1. 組織開発・人材開発

(1) 研究会、アカデミーでの議論を通しての“自ら考える力”の涵養

・各研究会・アカデミーの中で、自分の考えを持ち、それを議論を通してブラッシュアップしていく、という参加者の方々の行動を高めていけるよう運営していきます。

・新たな視点として、“Well Being”の様な観点での検討も進めていきたいと考えております。

・継続的にアンケートを取り、ご参加者の満足度や課題を探ってゆきます。

(2) 協会ならではの特徴あるプログラムの中より、個々の企業に合わせて提供し、DX を推進していける中心人財の育成を図っていきます

特に、これからの AI を活用するための人材育成が重要と考えます。そこにおいては、人間が価値を生み出すための創造性を育てることが重要だと考え、プログラムを検討・提案します。

企業向け研修

・メニューの中から各企業ごとのニーズに合った研修を選択いただき、各層のレベルアップであり、管理技術の習得であり、組織能力アップなどをポートしてゆきます。

・各社で行っている新人研修など、各社集合研修メニューを作成、提供していきます。

・また個別の内容対応を考え、参加者に寄り添ったコーチング、個別コンシェルジェなど新しい活動形態も検討していきます。

(3) 企業を越えた交流の活発化

人材の育成について、以下の施策を継続してゆくことで中長期に渡った育成に寄与して参ります。

・参加された方々とコラボし、お互いを高め合っていく場“トレビア・クラブハウス”の一層の活性化

また今年度から特に、これまで海外セミナーにご参加頂いた方々の繋がりを強めながら、研究を続けていく「グローバルビジネス研究会」を発足致します。

・ネットを活用した、協会活動のアピール

具体的には、X、Facebook、Instagramにて、逐次情報発信を開始しております。是非、フォロー願います。

・同じ課題を持った有識者・団体との共同研究活動として“ディスカッション・テーブル”の実施など、iCD 協会、ITHRD、JISA、学会など他の協会活動と協調し推進してゆきます。

2. 協会のビジネス活動

(1) エグゼクティブ・ビジネス海外研修の実施

2025 年度もビジネス海外研修を企画いたします。

訪問先としてインドを検討しており、何が起きつつあるのか、どういうコラボレーションがあるのか、といった内容を考える研修とします。

(2) セミナーの実施

タイムリーな課題を取り上げ、セミナーを実施して年間 5 本の開催を目指して参ります。

まずは 7 月 9 日に「生成 AI 社内導入時における法的チェックポイント確認セミナー」を企画しております。

この様なセミナーを通しまして、新たなつながりも創っていく予定です。

(3) 企業サポート

多様な変革を行っていく中で、中小企業における悩み・困り事への対処を客観的な視点で、未来の目標と一緒に描いていくことをサポートしてゆくサービスを広めてゆきます。

(企業診断、目標設定、サービスデザイン、バックキャスト思考)

(4) 「アジャイルエンジニア認定アソシエーション」のサポート

運転免許の様に実務能力も踏まえた認定を行う事によりこれからのアジャイルエンジニアの採用に対するレベル確認が出来るようにしていくことを目的に、これまでアジャイル研究会を主宰頂いてきた長瀬氏と活動を始めます。

ABC 協会は窓口となり、実際の教育・認定はこれまで教育など実施してきている TechBeach 社・テクノロジックアート社が行います。

3. 協会の基盤強化

事務局運営の強化を踏まえ、今後の会員拡大、分科会活動、海外研修について、注力してまいります

(1) ABC 協会の年会費を設立以来変更しておりませんが、2026 年度より価格改定を致します。

(2) ホームページ、セミナー企画を通して、ABC 協会の活動を発信し、コンタクトを得ていきます。また、X、Facebook、インスタグラムを通してタイムリーな活動情報の発信を行います。

(3) ABC 協会会員を中心としたご紹介による会員拡大を強化していきます。

(4) また、会員交流会を開催し、会員のみなさまの交流を促進して参ります。

(5) 会員様の満足度向上を図ります。研究会の内容の充実、案内の適正化、研究会テーマの充実を図ります。

今年度より、次年度の研究会、テーマなど理事を含め検討会を開催させていただきます。